

論点 サービス提供の在り方について

論点①

- 請求事業所数、利用者数、費用額のいずれも、近年減少傾向であり、減少した分は、地域において他の介護保険サービス等が本サービスの医療と介護の両方のニーズをもつ要介護者の生活を支える役割を担っている可能性が想定される。
- 医療と介護の両方のニーズをもつ要介護者の生活を支える通所サービスを安定的に提供するために、療養通所介護のサービスを継続することについてどのように考えるか。

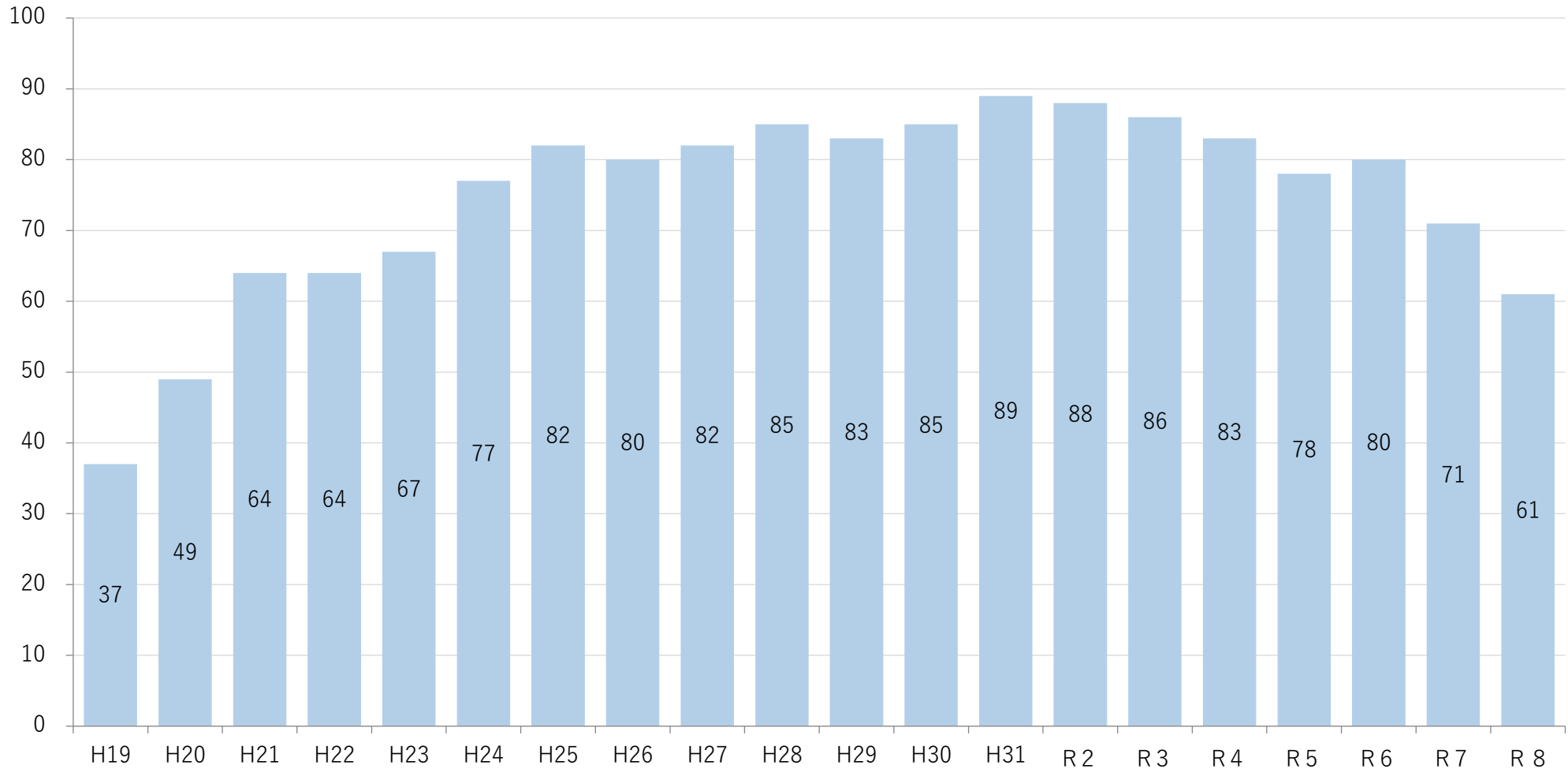
対応案

- 請求事業所数、利用者数、費用額のいずれも近年減少傾向であるが、医療と介護の両方のニーズをもつ要介護者の生活を支える通所サービスに対するニーズは今後も続くと予想されることから、本サービスの将来的な在り方について必要な検討を行うこととしてはどうか。

療養通所介護の請求事業所数

○請求事業所数は60ヶ所程度であり、近年減少している。

(事業所)



※請求事業所数には、月遅れ請求分及び区分不詳を含む。

(請求事業所数は、通所介護(療養通所介護事業所)の値を使用している)

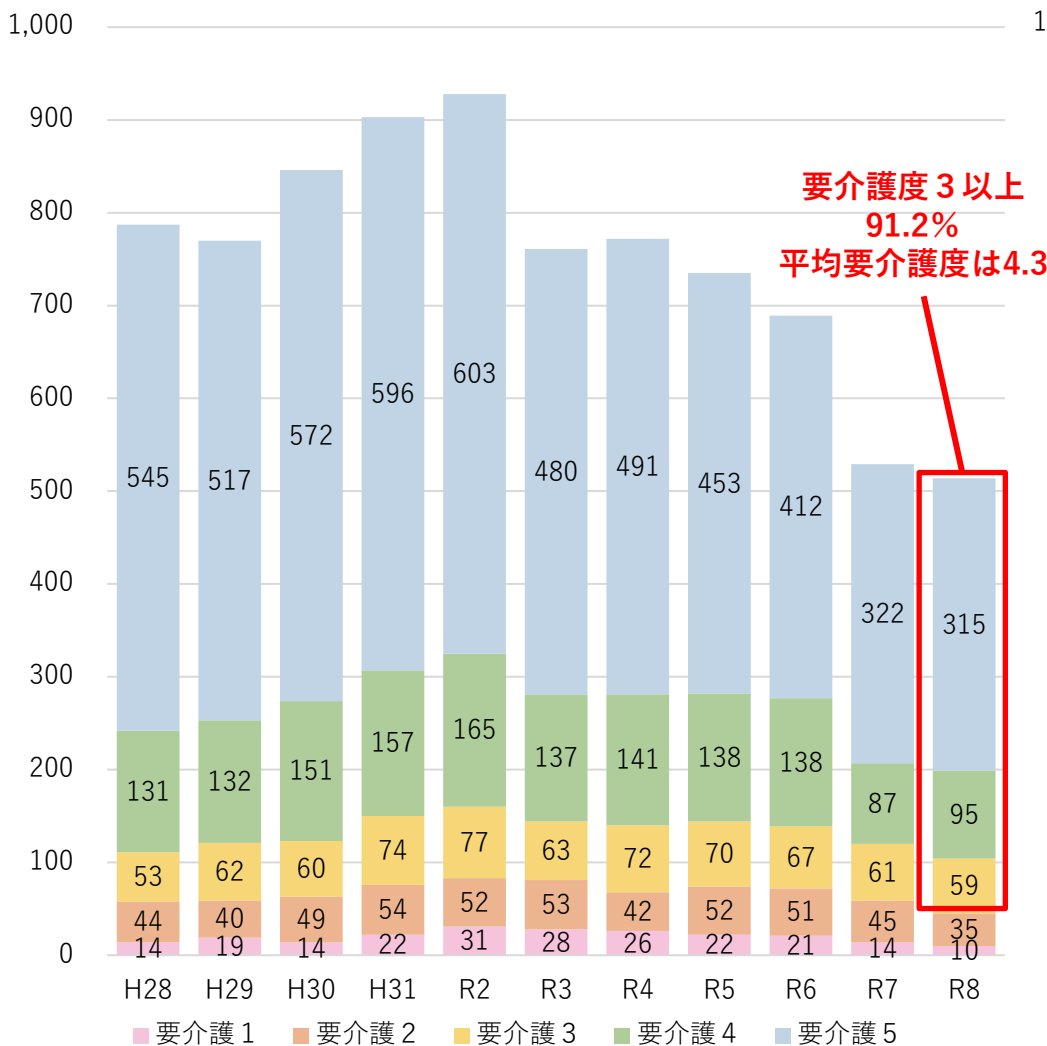
※介護予防サービスは含まない。

【出典】介護給付費等実態統計(旧：介護給付費等実態調査)(各年4月審査分)より老健局老人保健課にて作成 7

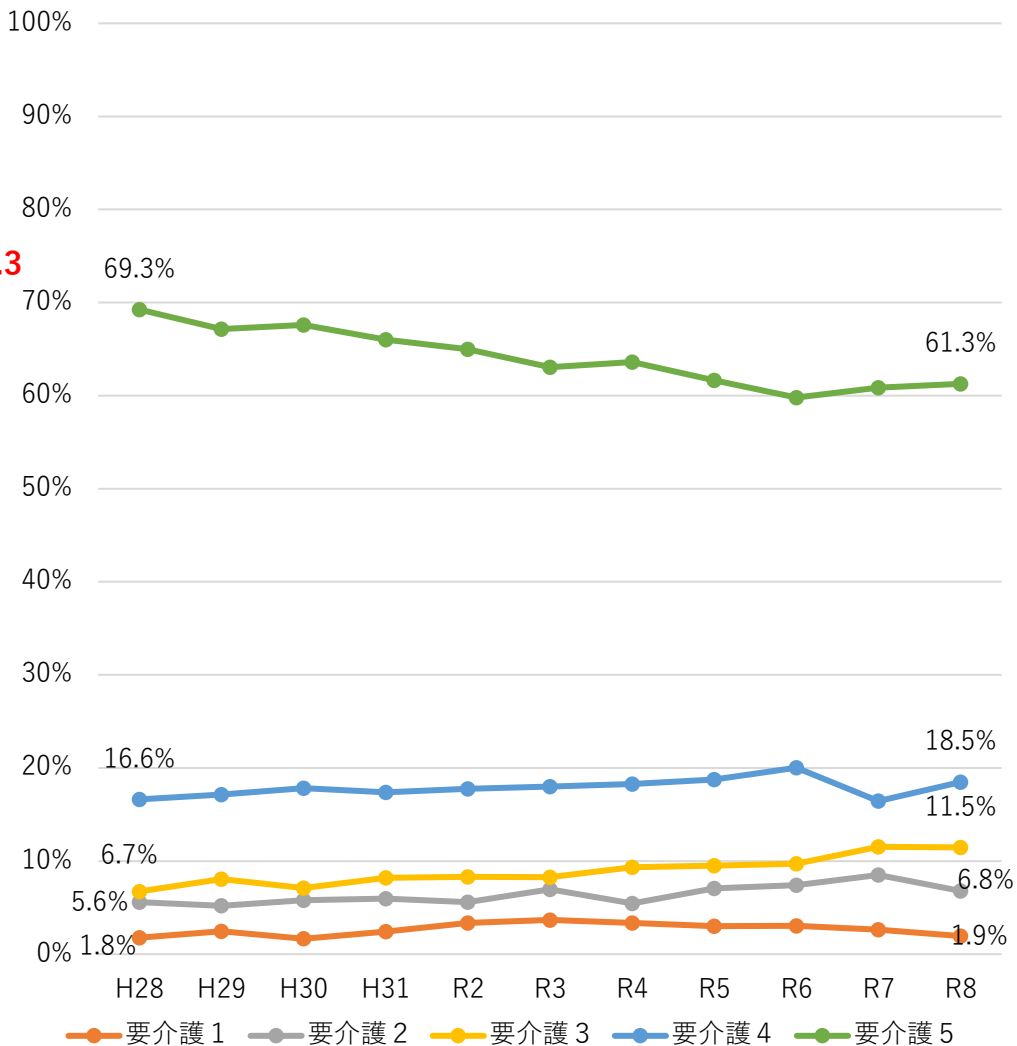
療養通所介護利用者の利用者数

- 療養通所介護の利用者数は令和3年度より減少している。
- 療養通所介護の利用者数割合は要介護5が最も多いが僅かに減少傾向にあり、その他は横ばいで推移している。

■ 要介護度別利用者数
(人)



■ 要介護度別利用者数割合の推移



【出典】介護保険総合データベースより各年4月審査分の実利用者より老健局老人保健課にて作成 9